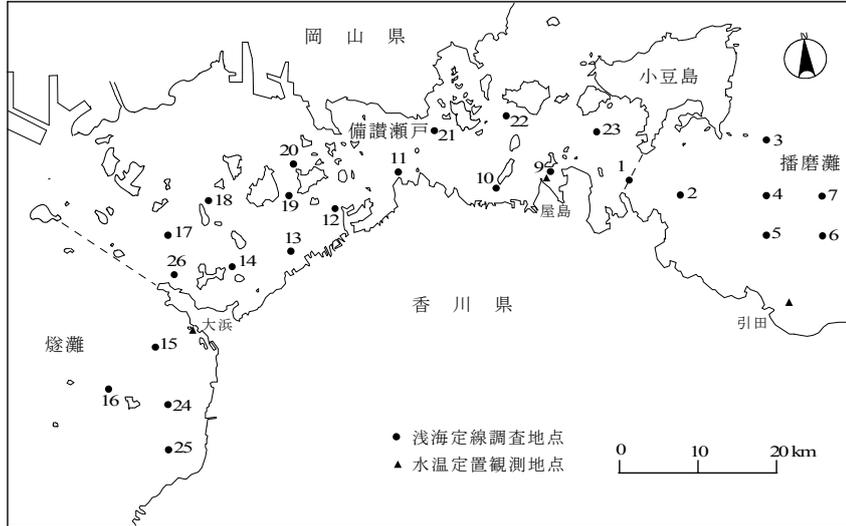


香川県漁海況情報 平成23年11月 (H23-8号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成23年11月2日 (備讃瀬戸, 燧灘), 4日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めからかなり高め」、塩分は「かなり低め」、透明度は「やや低め」、溶存酸素は「著しく低めからやや低め」であった。

11月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	22.3	22.6	22.8	30.5	30.8	31.2	6.8	4.69	4.18
	平年値	21.3	21.2	21.3	31.9	31.9	32.1	8.3	4.95	4.80
	平年偏差	1.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	1.7	0.30	0.31
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	かなり低め	かなり低め	かなり低め	やや低め	やや低め	著しく低め
備讃瀬戸	14地点平均値	21.8	21.8	21.9	30.0	30.0	30.0	4.1	4.49	4.37
	平年値	20.6	20.6	20.6	31.6	31.6	31.7	4.9	4.91	4.89
	平年偏差	1.2	1.2	1.3	-1.6	-1.6	-1.6	-0.8	-0.42	-0.52
	標準偏差(σ)	0.9	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	1.1	0.32	0.30
	状況	やや高め	やや高め	かなり高め	かなり低め	かなり低め	かなり低め	やや低め	かなり低め	かなり低め
燧灘	4地点平均値	22.1	22.0	22.1	30.7	30.7	30.8	6.3	4.94	欠測
	平年値	20.9	20.8	20.8	31.9	31.9	32.0	7.7	5.26	5.02
	平年偏差	1.2	1.2	1.3	-1.2	-1.2	-1.2	-1.4	-0.32	
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	1.9	0.32	
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	かなり低め	かなり低め	かなり低め	やや低め	やや低め	

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年(1973)1月～平成13年(2002)12月

溶存酸素：昭和48年(1973)2月～平成13年(2002)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

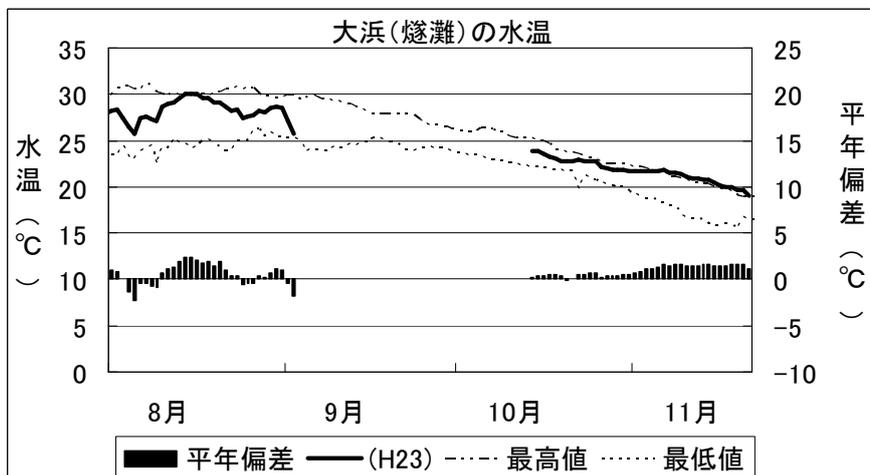
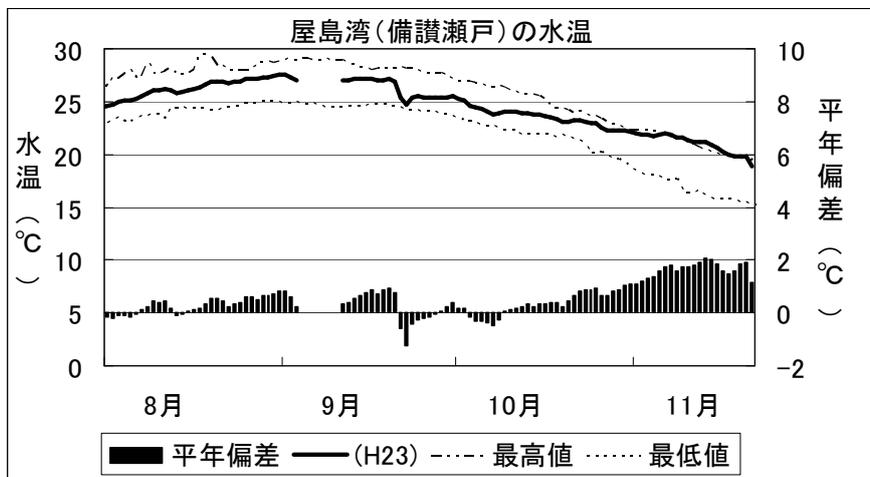
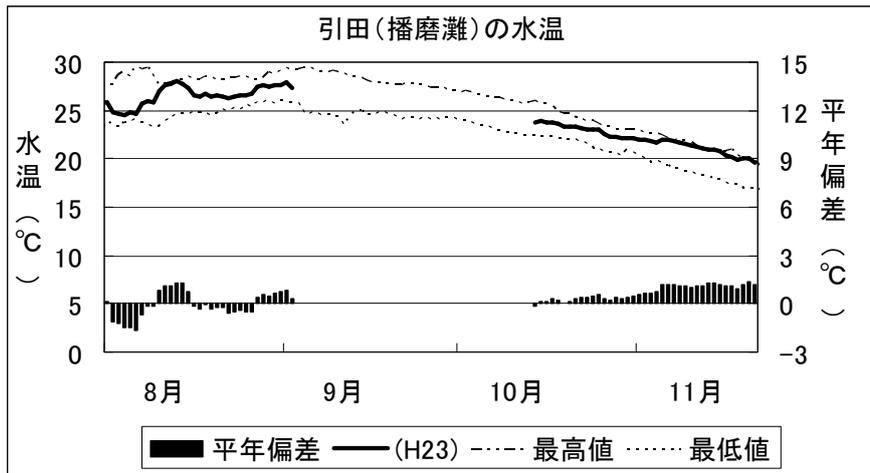
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田)：8月は初旬にやや低め、中旬にかなり高め、下旬は平年並みで推移した。9月3日から10月13日まで欠測。10月は14日以降は平年並みからやや高め、11月はやや高めからかなり高めに推移している。(11月に4回、過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島)：8月は平年並みからやや高めで推移した。9月4日から10日まで欠測。9月はやや高めから平年並み、10月は平年並みからやや高め、11月はやや高めから著しく高めに推移している。(11月に12回、過去最低値を更新。)

燧灘 (大浜)：8月は平年並みからかなり高めの間で推移した。9月3日から10月13日まで欠測。10月は14日以降は平年並みからやや高め、11月はやや高めから著しく高めで推移している。(8月中旬に3回、11月に16回、過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜：平成元 (1989) ~平成 22 (2010) 年
屋島：昭和 50 (1975) ~平成 22 (2010) 年



4) 赤潮 (10月21日～11月21日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：11月1日から2日に燧灘東部において *Mesodinium rubrum* による赤潮が確認された。

5) 卵稚仔

調査日：平成23年11月2日（備讃瀬戸，燧灘），4日（播磨灘）

出現量

－：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

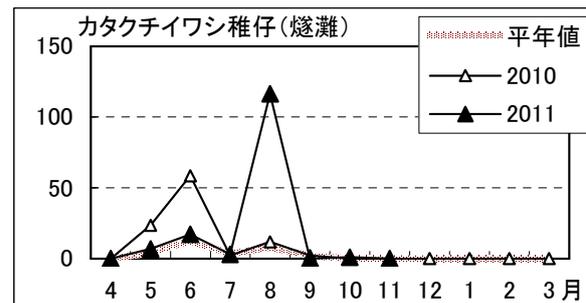
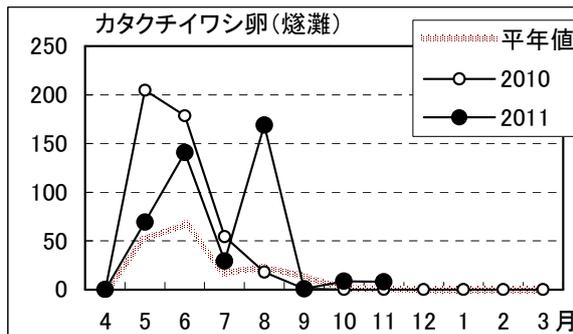
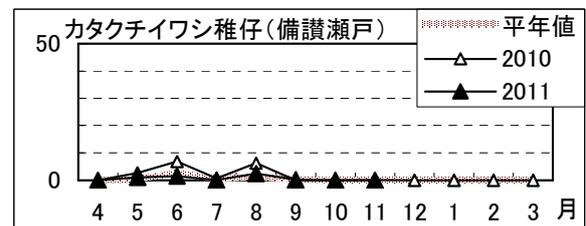
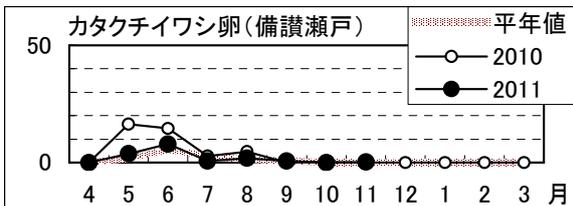
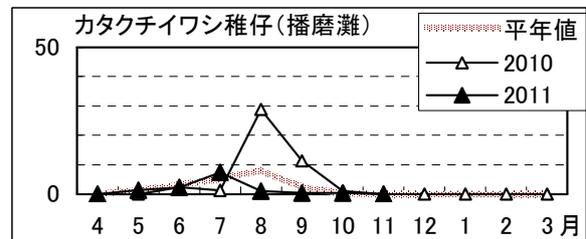
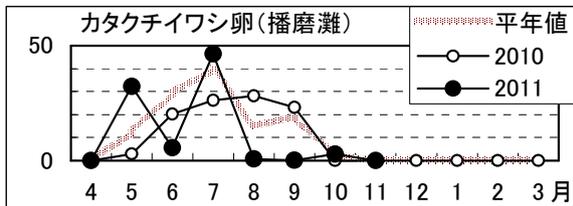
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～平成22（2010）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～平成22（2010）年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	0	0	－	－		
備讃瀬戸	平均値	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	156	0	0	0		
燧灘	平均値	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.8	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	985	0	－	－		
総平均	平均値	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	平年値	0.2	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	650	0	0	0		

マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されておりません。



2. 漁況

1) 10月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではマダイ、コノシロ、ニベ、アカカマス、シロギス、メイタガレイ、ウシノシタ類、マアナゴ、カワハギ、アカエイ、コウイカ、ベイカ、イイダコ、小エビ類、ガザミ、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ、マルアジ、マサバ、コノシロ、アカカマス、ツバス、カンパチ、イボダイ、アイゴ、カワハギ、ウマヅラハギ、タチウオ、コウイカなどが漁獲されている。アイゴが例年になく多い。</p> <p>あじ落網ではマアジ、マルアジ、ツバス、イボダイ、タチウオ、ナゴヤフグ、イカ類などが漁獲されている。</p> <p>建網ではメバル、カサゴ、ウミタナゴなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、ニベ、ヒラメ、メイタガレイ、ウシノシタ類、マアナゴ、カワハギ、フグ類、アカエイ、コウイカ、マダコ、イイダコ、小エビ類、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではクロダイ、スズキ、ウミタナゴ、イボダイ、アイゴ、メバル、カサゴ、オニオコゼ、コウイカ類などが漁獲されている。</p>
隧 灘	<p>底びき網ではアカカマス、メイタガレイ、マゴチ、アカハゼ、コウイカ、シャコ、小エビ類、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ、アカカマス、タチウオ、シリヤケイカなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではキジハタ、メバル、カサゴ、オニオコゼ、ハギ類、コウイカなどが漁獲されている。</p>

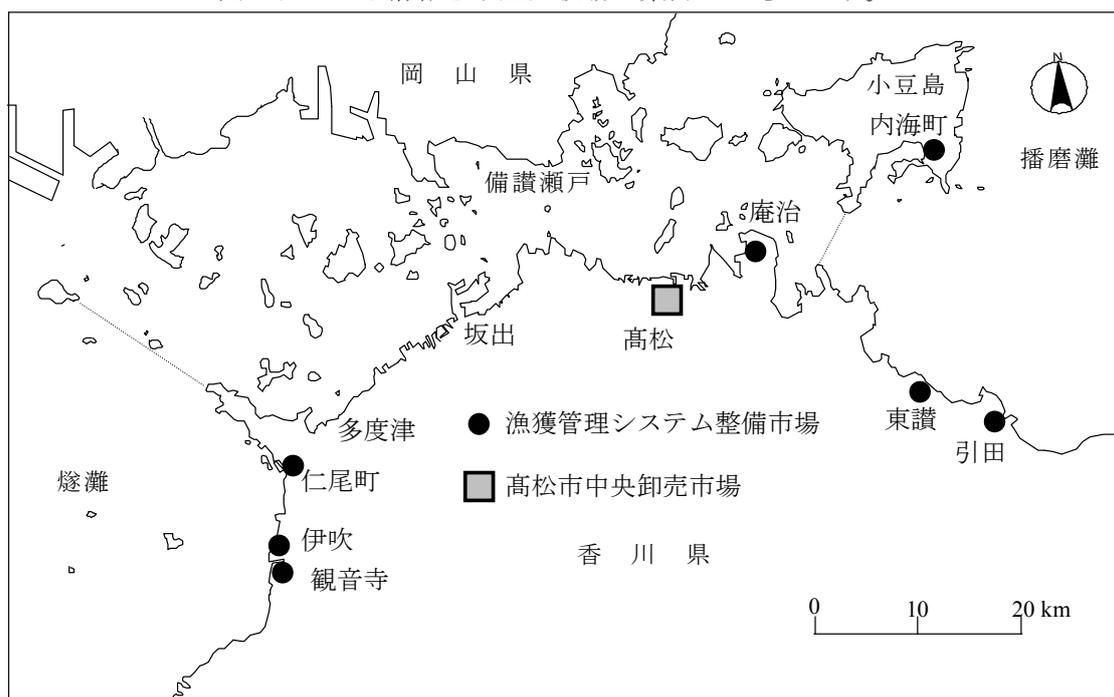
2) 香川県の漁獲情報

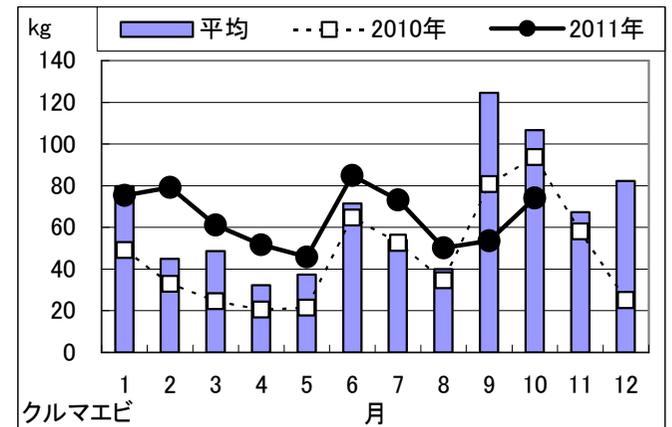
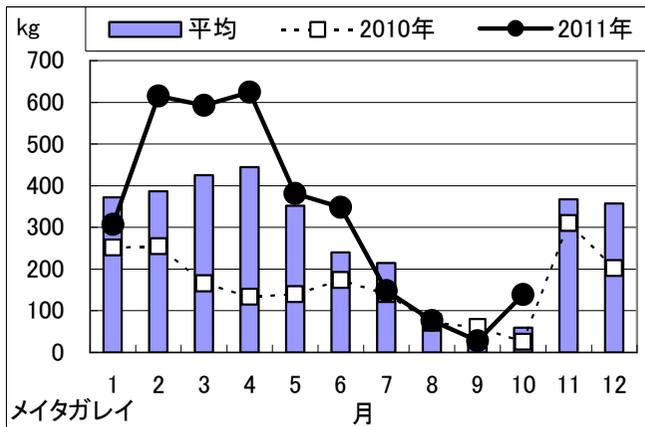
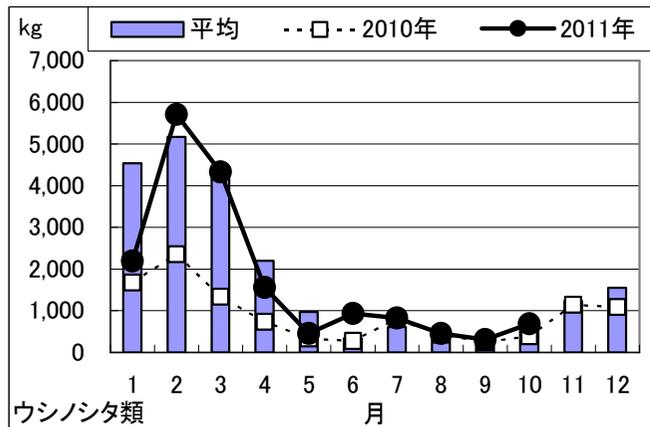
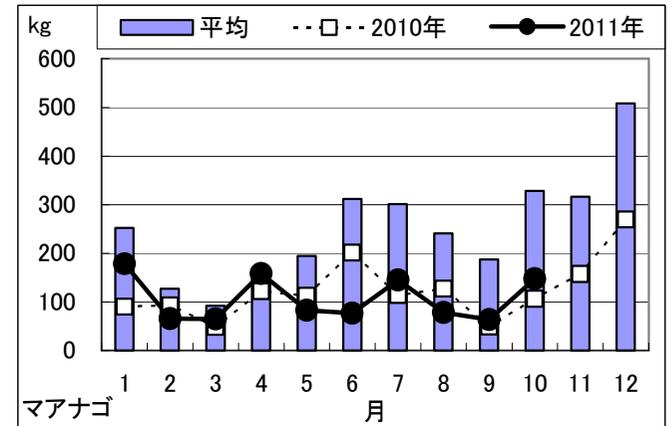
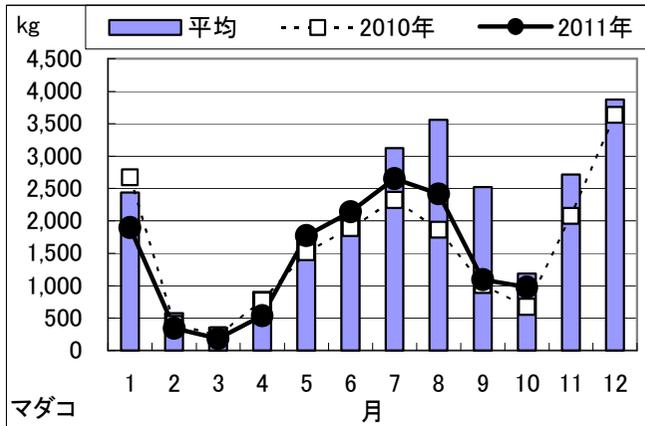
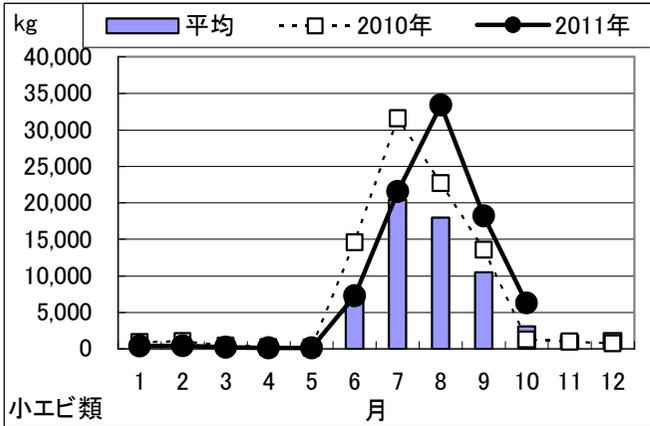
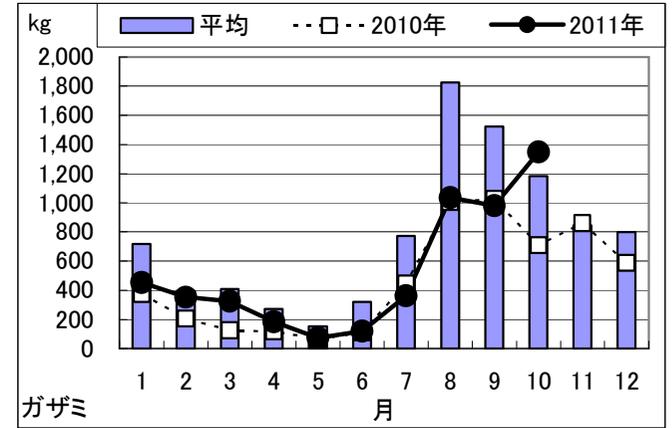
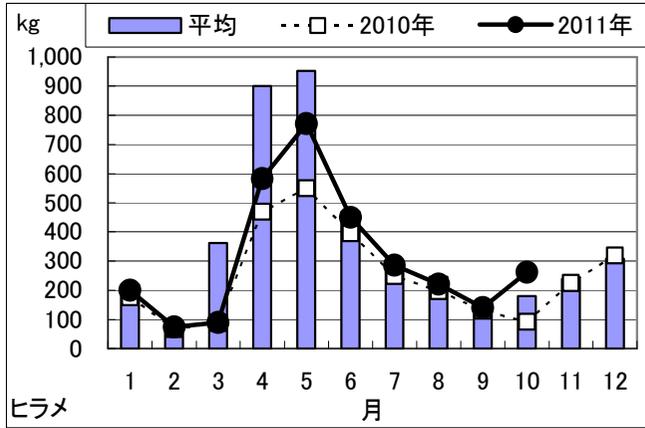
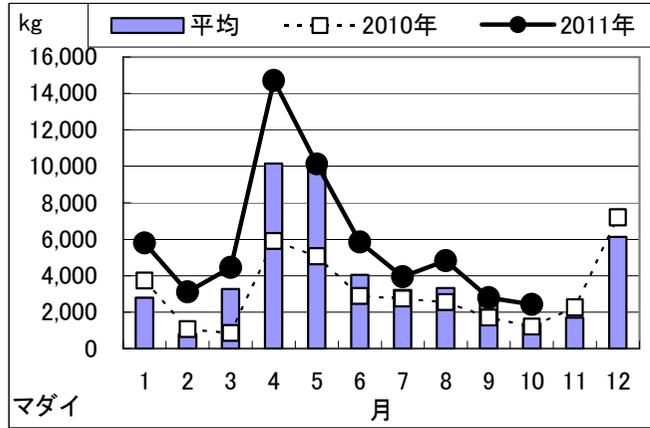
(1) 漁獲管理 (TAC) システムデータ

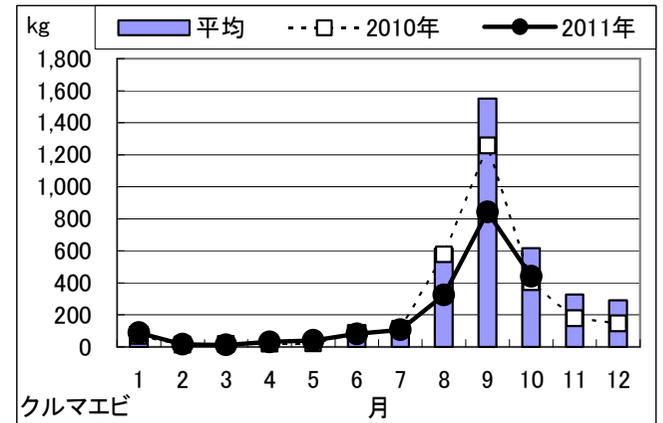
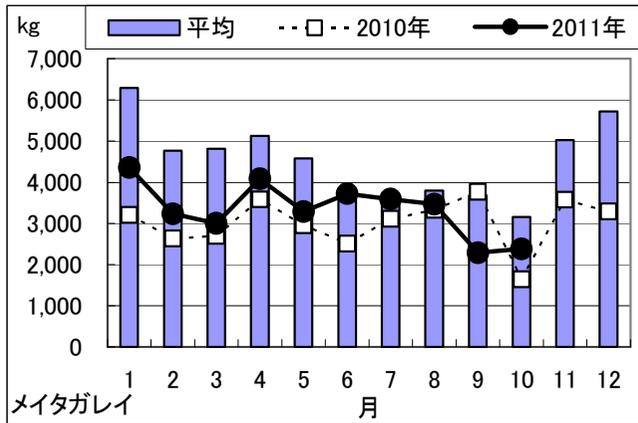
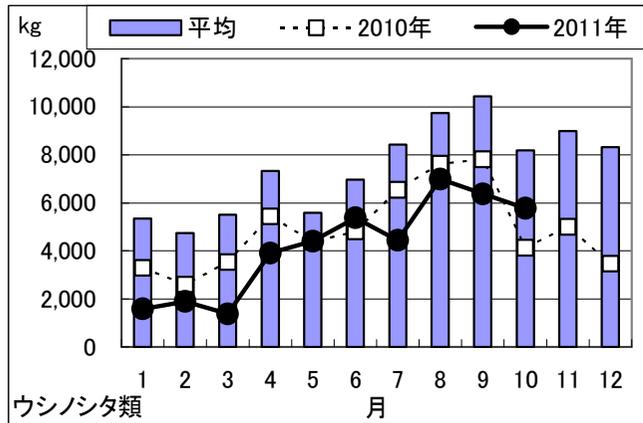
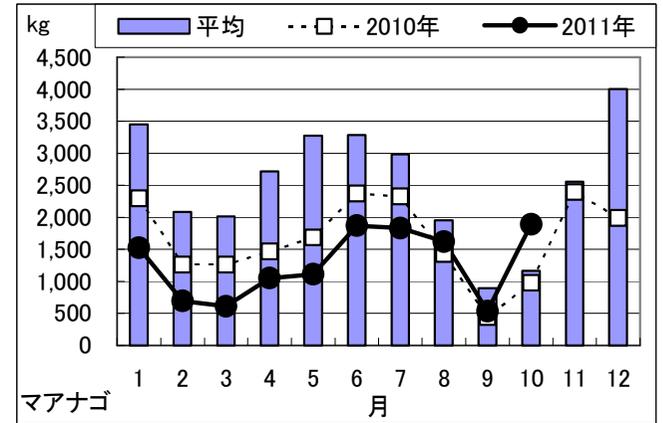
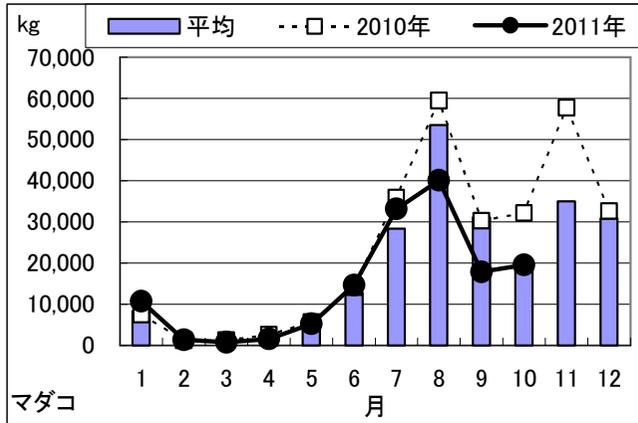
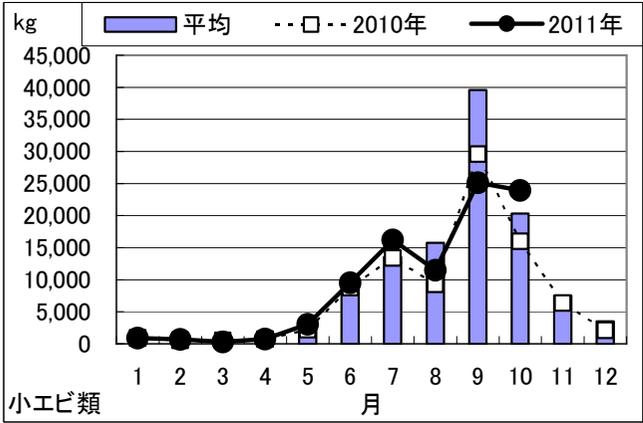
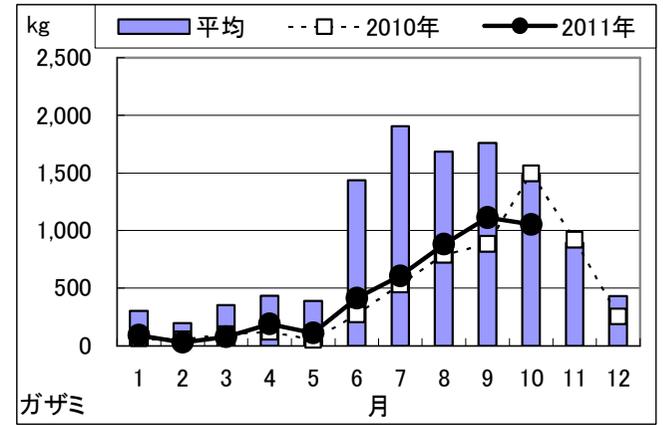
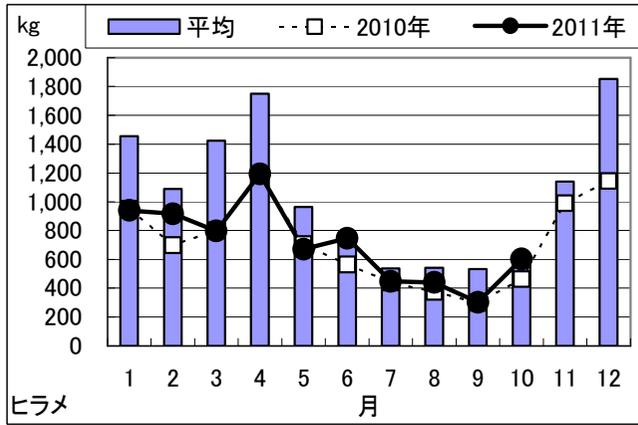
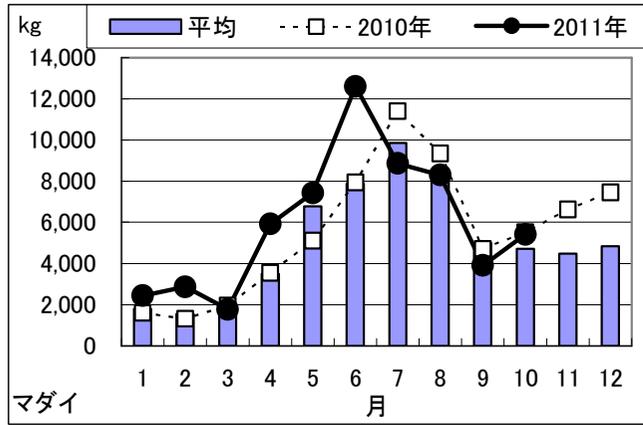
日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されています。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物(香川県全体から集荷されている)について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものです。







燧灘（仁尾町、観音寺、伊吹）のTACデータより

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。

